□■□　２２年度事業報告　□■□

令和４年度もコロナ禍の中、難病患者が外出できず対面での活動が制限されましたが、ウェブを使った活動は促進されました。滋賀県難病連では「ひとりぼっちの患者をなくそう」をスローガンとして①自分の病気を正しく理解する、②病気に負けないように励まし合う、③療養改善のために社会に働きかける、この３つのことを基本とし活動してきました。最近は、この事に加え、難病患者の社会生活を支援する専門職とのつながりが増えてきています。そのためには、ピア・サポート活動や就労支援活動に加え、難病相談支援センターをはじめとする支援機関や各種専門職の皆さんとのつながりを強化しました。

Ⅰ　難病連の組織強化

1 加盟団体の育成と相互協力、会員・賛助会員の拡大

「ひとりぼっちの患者をなくそう」をスローガンに会員、賛助会員の拡大に努めました。コロナ禍では、対面での活動が制限されましたが、大島基金の活用によりウェブ環境での活動は促進されました。

2 安定した組織の運営として難病連が設置運営するしがなんれん作業所、滋賀県難病相談支援センターを含め、難病連としての組織運営を行うため、事業の目的が達成できるよう４つの委員会活動(総務委員会、財政強化委員会、啓発・広報委員会、事業委員会)で運営を実施し、コロナ感染状況に合わせて活動しました。

３　入れ歯リサイクル事業、難病・慢性疾患患者支援自動販売機および天然水サーバーの設置事業、イエローレシートキャンペーンの拡大は活動資金の多くを占めている事業であり､機関誌によるPRを行うと同時に定着した活　　動になるように努めました。

Ⅱ　相談支援受託事業（滋賀県難病相談支援センター）

難病にかかる不安、医療情報、仲間、制度などに係る相談支援を滋賀県から受託して実施しました。

１　利用状況

令和４年(2022年)４月１日～令和５年（2023年）３月３１日【総利用者数　合計2,899人】

・相談件数（人数)・・・・・・・・・・　345件　(357人)

（内訳：面談　47件　57人、 電話等　161件、 メール等　18件、その他　119件）

・問い合わせ件数　・・・・・・・・・・・1155件（内訳：来所　43件、電話等　1112件）

・講演・交流会　　・・・・・・・・・・・　475人（１１回実施、センター外会場２回117人）ハイブリッド８回、Web参加168人

・ホッとサロン、土曜日開所、研修室等・・　730人

（ホッとサロン62人、交流会第一土曜日668人）

・その他利用　・・・・・・・・　118人（談話室・研修室などの利用者数）

２　各種相談支援

①所内相談

・電話相談：10時から16時まで

・面接相談：10時から16時まで

・内　　容：電話・メール・面接による療養、日常生活、就労等の相談、支援を行う。

第1土曜日　１３時３０分～１６時（祝祭日・年末年始は閉館）

②出張相談

例年、保健所の特定医療費受給者証の更新に併せて実施していたが、令和２年度から保健所での更新はされていないので、出張相談は実施していません。令和４年度以降も更新受付は県への郵送受付となります。

３　医療講演会および交流会

①　　センター主催で５回開催しました。

福祉制度手当に関する情報講演会、難病コミュニケーション支援講座はウェブ配信、多発性硬化症／視神経脊髄炎、クローン・潰瘍性大腸炎、摂食・嚥下に関する講演会は対面とウェブ配信で開催しました。

②　患者会共催で６回開催しました。

パーキンソン病はコロナの影響で２年間開催できていませんでしたが、今年度は対面形式で開催。リウマチとおおみの会も対面形式で開催しました。ＯＰＬＬ、膠原病、ＡＬＳはハイブリッド形式で難病相談支援センターを会場として開催しました。今年度は後半（10月以降）コロナ感染症のレベルが０～２と比較的落ち着いており、講演会を開催することができ、参加者は245名でした。

４　就労支援

①　　所内就労相談

平成27年（2015年）9月から、「難病患者就労相談日」を毎週金曜に設定しています。毎月奇数週はハローワーク大津難病患者就職サポーターと共に相談を受けています。

②　難病患者のための就労・生活支援セミナー

今年度は１１月３０日水曜日13：30～15：30難病相談支援センター研修室にて支援者対象に対面方式で開催。参加者は保健師５名、病院ケースワーカー１名、社会就労事業振興センター職員１名の計７名、スタッフ講師　４名（うち講師１名はZoom参加）でした。

５　ホッとサロン

難病患者や家族の仲間づくりなど社会参加の促進につながるよう、気軽に集える場を設けました。参加しやすいように各保健所でも開催しました。コロナ禍でも自宅から参加できるようにウェブ（Zoom）によるホッとサロンをセンターにて２回実施しました。

・開催場所：センター２回（Zoom)、彦根２回（彦根市、米原市)、他保健所管内で１回ずつ計10回

・開催内容：患者会でのコミュニケーション等で療養生活の向上及び社会参加の促進につなげている。

６　難病支援ボランティア養成講座

難病患者や家族支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援するために、疾患理解や生活上の支障等の理解を深める養成講座を開催しています。新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止しました。令和４年度は、高島保健所を会場として令和５年２月９日(木)13：30～開催することができました。19名の出席で新たにボランティア登録をされた方は２名おられました。

７　ピア・サポート

・ピア・サポーターの登録制に変更して８年目になります。登録者１７名が相談を行い、件数は電話相談が１２件、面接相談が６件、メール０件でした。

・ピア・サポーターと新たにピア・サポートに興味を持っている方を対象に、ピア・サポートの基礎と応用を学びピア・サポート技術の強化と新たなサポーターの養成を行い、ピア・サポート事業に役立たせることを目的に研修会を毎年実施しています。新型コロナウイルス感染症拡散防止の意味もあり中止が２年継続していましたが、令和４年度は、令和５年３月１３日(木)に対面で研修会を開催しました。参加者１５名でした。

８　在宅難病患者意思伝達装置貸出

在宅療養に必要な意思伝達装置などの貸出を行い、個々の状況に合った機器を選定、操作を習得していただき、療養生活の質やコミュニケーションが向上することを支援します。県担当者会議でデモンストレーションを行うことで利用者が増えています。

・伝の心　　12件（大津市保健所3件、彦根保健所2件、草津保健所4件、東近江保健所１件、長浜保健所　２件　）

・ペチャラ　　5件（大津市保健所１件、彦根保健所１件、高島保健所１件、東近江保健所１件、長浜保健所1件）

9　日常生活用具の展示

生活のしづらさを軽減し、自立した生活が送れるように、自助具作成ボランティアが作成した自助具の展示を行い、必要に応じて支援員による相談対応を行いました。

10センターだより

・３１号を１０月、３２号を2月に発行しました。
・３１号は、難病患者の防災の備えについて、講演会の実施状況、ホッとサロン　オンライン（Zoom）開催・予定、滋賀県難病相談支援センターからのお知らせ。
・３２号は、医療費助成の開始時期の前倒し･「登録者証」の発行、医療講演会報告、難病患者就労支援セミナー報告、ホッとサロン報告、滋賀県難病相談支援センターからのお知らせ。

１1滋賀県難病相談支援センター運営委員会の開催
平成28年（2016年）度より、難病相談支援センター事業の円滑な運営と事業内容の充実･強化を図るため、運営委員会が設置されました。医療関係、社会福祉関係、職業関係、当事者、学識経験者、行政関係からなる14名の委員により活発な議論が行われました。
令和４年（202２年）１０月２７日（木）　支援センターの実績報告と事業の課題について検討。

Ⅲ　調査研究啓発事業

1 難病のつどいの開催
難病のつどいは、１０月３０日（日）に立命館大学・サービスラーニングセンターの協力を得てハイブリッドで開催ができました。テーマとして「災害対策」の問題を取りあげ、会場・２２名　ズーム・１３３名　合計１５５名の参加がありました。

２ 世界稀少・難治性疾患の日（RDD）イベント
　２０２３年2月２６日新型コロナ感染症対策を施しながら少ない人数でRDDのイベントを開催しました。当日の参加者は１５名でした。

３ 各種会議への参加等
　難病法制定以降難病対策の推進に関する理解が高まり、会議への出席依頼要請が増加しています。滋賀県難病対策推進会議をはじめ滋賀県が主催する会議や滋賀県難病医療連携協議会運営会議、各市主催の会議、難病法に基づいて保健所圏域ごとに設置された「難病対策推進地域協議会」に会員が参加して患者の声を直接伝えました。

1）圏域難病対策地域協議会への参加について
・大津圏域　1／19、３／2
・甲賀圏域　中　止
・湖東圏域　11／４　ウェブ開催
・高島圏域　12／5　現地開催
・湖南圏域　２／2
・東近江圏域　中　止
・湖北圏域　３／23　ハイブリッド

２）出席要請会議について
・滋賀県医療審議会
・滋賀県在宅医療等推進協議会
・滋賀県難病対策推進協議会
・滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議
・滋賀県障害者施策推進協議会
・滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会
・滋賀県ユニバーサルデザイン推進検討専門分科会
・滋賀県身体障害者福祉協会理事会
・滋賀県身体障害者社会参加推進協議会
・滋賀県難病医療連携協議会
・滋賀県リハビリテーション協議会
・草津市自立支援協会
・近江八幡市障がい児者地域自立支援協議会

４　高齢難病患者への取組

高齢難病患者で身体等に障害がある場合は、障害者総合支援法に基づいて市町の障害福祉サービスが受けられていたものが、65歳になって介護保険優先の考えから、今まで受けられていた支援が市町によって受けられないという実態があります。厚生労働省の通達に「柔軟な対応」とあることを踏まえ、県や市町に対して他の障害者団体と連携して働きかけました。

５　災害対応への取り組み

難病のつどいや勉強会のテーマを災害対策として啓発に取り組みました。多くの方にご参加いただきました。

６　会員等への情報発信を行いました

滋賀難連ホームページの更新を随時更新しました。また、機関紙「しがなんれん」も年3回の発行を継続し、会員及び賛助会員をはじめ多くの方に難病を理解していただくための啓発活動に取り組みました。

Ⅳ　障害福祉サービス事業（しがなんれん作業所）

指定障害福祉サービス事業所として、生活介護と就労継続支援Ｂ型事業を実施して７年が経過しました。障害や難病を抱えながらも『何かで社会参加したい、何かで役に立ちたい』という願いに応えるために、関係者団体と共同・連携しながら活動を進めてきました。また病名が同じでも症状が一人一人異なるために、疲労・病状悪化やストレスなど体調への影響などを常に考えながら過度にならないように実践や活動を進めてきました。保健所や病院の地域連携室などにパンフレットを設置して周知を行いました。

県からの指導で令和４年度から義務化される障害者虐待防止についての対応として「障がい者虐待防止委員会」を設置しました。利用者数の増加や新型コロナ感染症対策に対応して活動しました。

職員会議　毎月１回

生産活動　3か月に1回

作業所運営委員会　新型コロナウイルス感染症拡大により中止

１．生活介護事業について

利用者の状況（利用定員　8名、利用者　11名）

傷病別：多発性硬化症、ミトコンドリア病、知的障害、パーキンソン症候群、広汎性発達障害、総合失調症、ウイルソン病、オスラー病、脳性小児麻痺、

地域別：草津市4名、守山市３名、野洲市1名、栗東市3名

１）受託作業

・ワークロード（紙クッション詰め）

・生協ステーション（生協商品の仕分け・受け渡し）

・車の掃除

・ポストバンク（ポスティング）

・駅前駐車場掃除

２）療　育

・散歩・ストレッチ体操・脳トレ・カードゲーム等個々に確認しながら行いました。

3）社会参加

・イベント、バザーは新型コロナウイルス感染防止のために中止となりました。

４）利用者の賃金

・１カ月２０日以上皆勤５００円、１日単価５０円（午前）１カ月平均６９５円でした。

・年１回賞与支給　出勤日数により算出。平均４，８７１円になりました。

５）行事、活動（新型コロナウイルス感染防止を配慮しながら活動を行いました。）

令和4年（２０２２年）　4月 6日　じゅらくの里へお花見

４月１２日　昼食で幸せなひと時（好きな弁当を買いに行く）

５月　2日　新緑を求め文化ゾーンに行こう

６月２５日　　レクスポ大会　中止
７月　７日　　七夕の集い　IN　目川
７月２３日　　ほっともっと　のお弁当を食べよう！
１０月２５日　　ハロウィンパーティ　仮装して皆で楽しもう
１１月１６日　　水木しげる生誕１００周年記念展（佐川美術館）
１１月１６日　　文化ゾーンへ紅葉狩り
１２月１３日　　年末お楽しみ会のプレゼントを買いに行こう！
１２月２３日　　２０２２お楽しみ会　プレゼントの交換
令和5年（２０２３年）１月　　５日　　新年会　抱負を書こう！（ほっともっとの弁当）

６）職員体制

・施 設 長	常勤（兼務）	1名
・生活指導員	常勤	1名
・サービス管理責任者	兼務	1名
・看 護 師		1名
・生活介護指導員	パート	３名（2名Ｂ型と兼任）

２．就労継続支援Ｂ型事業について
利用者の状況　利用定員　12名、利用者6名
疾病別：クローン病、ファロー四徴症、精神疾患広汎性発達障害、統合失調症
地域別：大津市　1名、草津市　２名、野洲市　１名、栗東市　２名
１）受託作業
・連合滋賀（チラシ折り、ティッシュへ挟み込み、配達）
・株式会社ヒロノ技研（スペーサ清掃）
・株式会社近商物産（サンタブーツ組立）
・駅前駐車場掃除
・岡安ゴム（バリ取り）
・リビング（ポスティング）
・ポスティング（ポスティング）
２）社会参加
・イベント、バザーは新型コロナウイルス感染防止のために中止となりました。
３）利用者の賃金について
・1カ月１５日以上皆勤　５００円
・１日単価３００円１か月平均6,000円ボーナス含む　平均10,000円
・年２回賞与支給　出勤日数により算出　平均45,000円
４）行事、活動
新型コロナ感染防止を配慮し活動を行い、生活介護の仲間とも内容同じく行いました。
５）職員体制

・施 設 長	兼　任	1名
・職業指導員	会計兼任	1名
・生活指導員	生活介護兼任	1名
・サービス管理責任者	兼　任	1名
・生活指導員	常　勤	1名

Ⅴ　その他

１．県への要望（２０２３年度社会福祉施策に対する要望書）
　要望書の提出は、２０２２年（令和４年）９月１６日に滋賀県の担当課に最低人数の滋賀難連三役３名で提出しました。その後、２０２２年（令和４年）１２月２１日付で回答をいただきました。（要望書・回答書の内容は機関誌「しがなんれん」４月号に掲載しています。）

２．滋賀県難病対策推進議員連盟

昨年度もコロナ禍の中、滋賀県難病対策推進議員連盟のみなさんとの意見交換が少ししかできませんでした。滋賀県議会１１月定例会・一般質問の時に県に対し「滋賀県の自宅で受けられる医療的ケア」について質問してくださいました。

３．国会請願署名活動（難病・長期慢性疾病・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進を求める請願書）

ＪＰＡ加盟団体として、国に対する難病・長期慢性疾病・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進を求める請願署名活動に取り組みました。期間中、筆数　3,589筆　募金　２４,000円の実績がありました。街頭署名行動はコロナ禍の中、中止しました。

４．勉　強　会

２０２２（令和４）年１２月１４日（水）滋賀県難病相談支援センターにて「NTT災害用伝言ダイヤル１７１」体験勉強会」を開催しました。参加者は12名でした。

５．各種障がい者啓発イベントへの参加

毎年決まった日に開催される「滋賀県障害者週間」は１２月3日（金）から９日（火）の日程でビバシティ平和堂（彦根市）にて開催されました。展示コーナーに機関誌・リーフレットなどを出展し「難病」についての啓発を行いました。

６．新型コロナウイルス感染症対策について

滋賀県等と連携した新型コロナ感染症対策を行い、コロナ禍の中でできる活動を考えました。結果、ウェブ会議などの活動ができるようになりました。

７．法 人 運 営

１）会 員 数　　388名

賛助会員数　　７１名

２）第３９回通常総会を開催

令和４年（２０２２年）６月５日（日）

滋賀県難病相談支援センター　研修室

３）理事会等の開催

・理事・監事会　９回（5/7　5/21　6/5　6/25　8/20　10/15　12/17　2/18　3/25）

・三役会　　9回（4/27　5/6　5/16　6/17　８/9　10/6　12/8　2/8　3/14）

・各委員会　　総務委員会　６回・財政強化委員会　１回・啓発広報委員会　５回

・難病相談支援センター（事業委員会）

支援センター運営委員会　１回（１１/5）

支援センター職員会議　１３回（4/1　4/15　5/20　6/17　7/21　8/19　9/16　10/28　11/11　12/16　1/20　2/17　3/17）

・しがなんれん作業所（事業委員会）

作業所運営委員会　　年 ３ 回

作業所職員会議　　毎月１回

・ＪＰＡ総会　　書面参加

・国会請願書名街頭活動　コロナ禍のために中止

・JPA近畿ブロック交流会　大阪難病連主催　　９/１７ 大阪市立早川福祉会館　４名参加

8. 大島晃司基金について

大島晃司基金について、理事会で慎重に検討した結果、大島晃司氏の遺志により稀少難病の会「おおみ」に3000万円を支援しました。また、稀少難病患者を含む多くの難病患者との交流や多くのご支援をいただいている方々との連携ができるように、パソコン・WEBカメラ・プロジェクター等の機器を購入し、難病のつどいや滋賀県難病相談支援センターの活動等に使用しました。

□■□　２２年度活動計算書　□■□

令和４年（2022年）度　活動計算書

令和４年(2022年)４月１日から令和５年(2023年)３月３１日まで

特定非営利活動法人　滋賀県難病連絡協議会

（単位：円）

科　　目	決算額	予算額	増減
Ⅰ　経常収益			
１　受取会費			
正会員受取会費	147,200	157,000	△ 9,800
賛助会員受取会費	121,000	110,000	11,000
２　受取寄付金			
故大島晃司氏受取寄付金	46,415,856	0	46,415,856
一般受取寄付金	47,600	120,000	△ 72,400
請願募金受取寄付金	4,800	9,000	△ 4,200
自販機等受取寄付金	1,091,967	930,000	161,967
入れ歯リサイクル受取寄付金	349,615	300,000	49,615
３　受取助成金等			
受取国庫補助金	0	0	0
受取自治体補助金	273,359	66,000	207,359
受取民間助成金	1,570,000	30,000	1,540,000
４　事業収益			
相談支援受託事業	10,503,000	11,323,000	△ 820,000
障害者福祉サービス事業	19,177,393	18,070,000	1,107,393
（1）生活介護就労支援B型事業	18,108,473	17,300,000	808,473
（2）生産活動事業	1,068,920	770,000	298,920
５　その他			
受取利息	140	1,000	△ 860
雑収益	579,457	760,000	△ 180,543
経常収益　計	80,281,387	31,876,000	48,405,387
Ⅱ　経常費用			
１　事業費			
（1）人件費			
給料手当	17,696,696	18,893,000	△ 1,196,304
法定福利費	1,306,503	1,319,000	△ 12,497
通勤費	1,341,283	744,000	597,283
福利厚生費	35,040	67,000	△ 31,960
人件費　計	20,379,522	21,023,000	△ 643,478
（2）その他経費			
材料仕入	179,134	50,000	129,134
利用者賃金	914,235	720,000	194,235
諸謝金	629,790	898,000	△ 268,210
旅費交通費	129,148	225,000	△ 95,852
通信運搬費	300,644	449,000	△ 148,356
印刷製本費	239,850	275,000	△ 35,150
消耗品費	1,073,781	205,000	868,781
修繕費	10,450	50,000	△ 39,550
水道光熱費	190,430	230,000	△ 39,570
車両費	1,048,820	1,200,000	△ 151,180
地代家賃	1,796,635	2,360,000	△ 563,365
使用料賃借料	1,987,050	2,034,000	△ 46,950
保険料	161,867	129,000	32,867
支払手数料	79,004	19,000	60,004
諸会費	108,000	93,000	15,000
支払負担金	2,000	31,000	△ 29,000
支払助成金	10,000	14,000	△ 4,000
減価償却費	291,254	0	291,254
雑費	188,458	30,000	158,458
租税公課	94,400	3,000	91,400
特別会計操出金	46,416,118	0	46,416,118
その他経費　計	55,851,068	9,015,000	46,836,068
事業費　計	76,230,590	30,038,000	46,192,590

科　　目	決算額	予算額	増減
２　管理費			
（１）人件費			
給料手当	1,040,421	850,000	190,421
通勤費	78,120	75,000	3,120
人件費　計	1,118,541	925,000	193,541
（２）その他経費			
諸謝金	198,000	198,000	0
旅費交通費	148,005	126,000	22,005
通信運搬費	159,585	125,000	34,585
消耗品費	11,275	15,000	△ 3,725
修繕費	119,416	65,000	54,416
水道光熱費	31,265	20,000	11,265
地代家賃	235,658	99,000	136,658
使用料賃借料	174,187	127,000	47,187
支払手数料	4,827	2,000	2,827
諸会費	37,300	40,000	△ 2,700
支払負担金	67,702	96,000	△ 28,298
減価償却費	30,342	0	30,342
租税公課	600	0	600
その他経費　計	1,218,162	913,000	305,162
管理費　計	2,336,703	1,838,000	498,703
経常費用　計	78,567,293	31,876,000	46,691,293
Ⅲ　経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用　計	0	0	0
当期正味財産増減額	1,714,094	0	1,714,094
過年度調整正味財産額	0	0	0
前期繰越正味財産額	16,746,845	16,584,526	162,319
次期繰越正味財産額	18,460,939	16,584,526	1,876,413

□■□　２２年度貸借対照表　□■□

令和4年(2022年)度　貸借対照表
令和5年(2023年)3月31日現在
特定非営利活動法人滋賀県難病連絡協議会

（単位:円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	191,438		
預金	13,729,657		
未収金	3,621,776		
前払金	301,043		
流動資産合計		17,843,914	
2　固定資産			
(1)有形固定資産			
建物付属設備	111,200		
建物付属設備減価償却累計額	△ 98,671		
車両運搬具	5,067,266		
車両運搬具減価償却累計額	△ 2,838,372		
器具備品	562,394		
器具備品減価償却累計額	△ 562,390		
有形固定資産計	2,241,427		
(2)投資その他の資産			
預託金	20,080		
投資その他の資産計	20,080		
固定資産合計		2,261,507	
資産合計			20,105,421
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	1,520,446		
前受金	0		
預り金	124,036		
流動負債　合計		1,644,482	
2　固定負債		0	
負債合計			1,644,482
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,746,845	
過年度調整正味財産額		0	
当期正味財産増減額		1,714,094	
正味財産合計			18,460,939
負債及び正味財産合計			20,105,421

□■□　２２年度財産目録　□■□

令和４年(2022年)度　財産目録

令和５年(2023年)3月31日現在

特定非営利活動法人 滋賀県難病連絡協議会

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金	191,438		
預金			
滋賀銀行守山北支店	692,897		
ゆうちょ銀行	542,545		
滋賀銀行県庁支店	0		
滋賀銀行県庁支店	1,453,303		
滋賀銀行栗東支店	8,141,638		
滋賀銀行栗東支店	1,572,103		
滋賀銀行栗東支店	1,220,480		
ゆうちょ銀行	106,691		
未収金			
相談支援受託事業未収金	0		
生活介護就労事業Ｂ型事業未収金	3,172,781		
地域活動推進事業補助金	95,000		
RDD助成金	50,000		
保険料	0		
雑収益（コピー代）	303,995		
前払金			
車両費（自動車保険）前払金	301,043		
流動資産　合計		17,843,914	
２　固定資産			
(1)有形固定資産			
建物付属設備			
照明器具設備	111,200		
減価償却累計額	△ 98,671		
車両運搬具			
ダイハツ　タント	1,344,926		
減価償却累計額	△ 1,344,925		
ダイハツ　ムーヴ	1,215,150		
減価償却累計額	△ 1,215,149		
トヨタ　シエンタ	2,507,190		
減価償却累計額	△ 278,298		
器具備品			
タイルカーペット	121,000		
減価償却累計額	△ 120,999		
エアコンCS284CF-W	183,884		
減価償却累計額	△ 183,883		
エアコンAYF25DM	118,800		
減価償却累計額	△ 118,799		
ノートパソコンPC－VUT25FB6S3R5	138,710		
減価償却累計額	△ 138,709		
有形固定資産　計	2,241,427		
(2)投資その他の資産			
預託金	20,080		
投資その他の資産計	20,080		
固定資産　合計		2,261,507	
資産　合計			20,105,421
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金			
相談支援受託事業未払金	1,513,434		
地代家賃（共益費）	7,012		
前受金			
機関誌広告料	0		
預り金			
源泉所得税	124,036		
遺贈金	0		
流動負債　合計		1,644,482	
２　固定負債		0	
負債　合計			1,644,482
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,746,845	
過年度調整正味財産		0	
当期正味財産増減額		1,714,094	
正味財産　合計			18,460,939
負債及び正味財産合計			20,105,421

令和４年(2022年)度　大島晃司基金特別会計　活動計算書
令和４年(2022年)４月１日から令和５年(2023年)３月３１日まで

特定非営利活動法人　滋賀県難病連絡協議会

（単位：円）

科　　目	決算額	予算額	増減
Ⅰ　経常収益			
１　繰入金			
一般会計繰入金	46,416,118	46,415,000	1,118
２　その他			
受取利息	234	1,000	△ 766
経常収益　計	46,416,352	46,416,000	352
Ⅱ　経常費用			
１　事業費			
おおみ支援金	30,000,000	30,000,000	0
消耗品費	282,317	1,000,000	△ 717,683
支払手数料	550	1,000	△ 450
減価償却費	191,022	0	191,022
経常費用　計	30,473,889	31,001,000	△ 527,111
当期正味財産増減額	15,942,463	15,415,000	527,463
前期繰越正味財産額	0	0	0
次期繰越正味財産額	15,942,463	15,415,000	527,463

令和４年(2022年)度　大島晃司基金特別会計　貸借対照表
令和５年(2023年)３月３１日現在

特定非営利活動法人　滋賀県難病連絡協議会

（単位：円）

科　　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金	0		
預金	15,337,362		
流動資産合計		15,337,362	
２　固定資産			
（1）有形固定資産			
器具備品	796,123		
器具備品減価償却累計額	△ 191,022		
有形固定資産計	605,101		
固定資産合計		605,101	
資産合計			15,942,463
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
２　固定負債		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期繰越正味財産		15,942,463	
正味財産合計			15,942,463
負債及び正味財産合計			15,942,463

令和４年(2022年)度　大島晃司基金特別会計　財産目録
令和５年(2023年)３月３１日現在

特定非営利活動法人　滋賀県難病連絡協議会

（単位：円）

科　　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金	0		
預金			
滋賀銀行県庁支店	15,337,362		
流動資産合計		15,337,362	
２　固定資産			
（1）有形固定資産			
器具備品			
リコー WXL5860 プロジェクター	198,980		
減価償却累計額	△ 46,428		
富士通ノートパソコン FMVA92056P	154,762		
減価償却累計額	△ 45,138		
富士通ノートパソコン FMVA92056P	154,762		
減価償却累計額	△ 45,138		
BOSE VB1 カメラ・三脚	177,976		
減価償却累計額	△ 41,527		
ワイヤレスアンプ WA-2800	109,643		
減価償却累計額	△ 12,791		
有形固定資産計	605,101		
固定資産合計		605,101	
資産合計			15,942,463
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債		0	
２　固定負債		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期繰越正味財産		15,942,463	
正味財産合計			15,942,463
負債及び正味財産合計			15,942,463